

## ごあいさつ

京都市社会教育委員会議 議長

井上 満郎



京都市社会教育委員会議では、第27期（平成17年7月1日～19年6月30日）の審議テーマを「京都創生と生涯学習」と定め、京都の文化の継承・発展、次世代育成のために生涯学習が果たす役割について審議を進めて参りました。併せて会議の活性化にも積極的に取り組み、京都はもとより、日本を代表し、多彩な分野で活躍されている社会教育委員から専門的な見地からそれぞれの視点で「京都創生」についてスピーチをいただき、それぞれが知見を高めるなど、市民に根ざした京都ならではの生涯学習の推進に努めているところです。

第27期の任期が本年6月末で一区切りとなることから、この度6名の委員のスピーチを取りまとめた冊子を作成致しました。

本冊子が、市民や関係者の皆様に広く活用され、「京都創生」に対する理解と関心が更に高まり、「まち全体がみんなのまなびや」となる生涯学習社会の充実につながることを願っております。

---

京都市教育長

門川 大作



京都市社会教育委員会議は、教育、伝統文化、芸術・マスコミ・スポーツ等幅広い分野で御活躍の我が国を代表する方々と公募による市民代表の方々、学生さんも含めて構成され、樹本市政の掲げる重要施策「京都創生」や「京都市生涯学習新世紀プラン」を幅広く御論議いただくなど、本市の21世紀を切り拓く教育施策の方向性を示す重要な役割を担っていただいております。

今期の社会教育委員会議において、6人の委員の方々にそれぞれの専門分野から、「京都創生と生涯学習」というテーマで普段なかなか直接お聞きすることができない示唆に富んだ貴重なスピーチをいただきました。

私自身、京都の歴史の重み、まちや人々の素晴らしさ、奥深さを改めて実感致しますとともに、見逃されがちな事項に鋭く言及いただくなど、今後の生涯学習政策はもとより、人間としての生き方についても重要な視点を認識させていただきました。

市民の皆様にも、御一読いただき、お一人お一人の生涯を通じた学びが更に実り多いものとなり、また、瑞々しい生涯学習のまちづくりが進展する一助となれば幸いです。